

## ＜小中英語パートナーシップ事業（館岩小・館岩中）の実践より＞

小中英語パートナーシップ事業（2年次）の授業研究会から、「目的・場面・状況」を明確にした授業や小中連携を図った CAN-DO リストの活用を以下に紹介します。

CAN-DO リストを通して、児童生徒は学びの見通しがもてるようになるとともに、できるようになったことを実感し、次の学びへの意欲につながりました。また、教師にとっても児童生徒の CAN-DO リストの振り返りを受けて、次時の授業の組み立てに生かすことができるよさがあります。

### 【館岩中（中2）】【Unit 5 Universal Design 須貝 勇輝先生の実践】 【CAN-DO リスト】

ALT の友達から届いたビデオメッセージ（日本のユニバーサルデザインを教えてほしいという内容）をきっかけに、生徒は「疑問詞 + to 不定詞」を用いて、身の回りのものの使い方等を相手意識をもってプレゼンテーション資料にまとめ発表することができました。



2nd Grade Name  
Unit5 Universal Design Unit Goal: だれもが使いやすいものや、暮らしやすい社会について考えることができる。  
身近なもの・ことについて、使い方ややり方を説明したり、自分の考えを述べたりすることができる。

#### Lesson Schedule

時間	Today's CAN-DO (今日のめあて)	CAN-DO チェック できる 少しできる 少しできない できない	この時間でレベルアップするか ●がつかついたら					今日できるようになったこと・ 次回がんばりたいこと
			聞く	読む	やり取り	発表	書く	
1	身近な物事のやり方や使い方について伝える方法を理解することができる。	😊 😊 😊 😊	●		○		●	
2	どのようにしたらよいかを説明するために、身近な物事のやり方や使い方について、周りの人に伝えることができる。	😊 😊 😊 😊	●	●	●			
3	身近な物事のやり方や使い方について情報を採ったり説明したりする方法を理解することができる。	😊 😊 😊 😊	●		○		●	
4	どうしたらよいかを理解し周りの人に説明するために、身近な物事のやり方や使い方について情報を採入、伝え合うことができる。	😊 😊 😊 😊		●	●			
5	自分の確信や喜びの気持ちなどについて伝える方法を理解することができる。	😊 😊 😊 😊	●		○		●	
6	だれもが使いやすいものについて考えるために、相手の考えや気持ちなどを読み取ったり、自分の確信や喜びの気持ちについて、周りの人に伝えたりすることができる。	😊 😊 😊 😊	●	●	●			
7	エスリイ高生は日本のユニバーサルデザインについてわかりやすく説明するためのポスターを準備することができる。	😊 😊 😊 😊	●	●	○		●	
8	エスリイ高生に日本のユニバーサルデザインについて知ってもらうために、その使い方や特徴を説明したり、自分の考えを述べたりすることができる。	😊 😊 😊 😊	●	●	●	●	○	
9	だれもが暮らしやすい社会について考えるため、ある人物の功績について書かれた文章の概要を理解することができる。	😊 😊 😊 😊	●	●	●		○	
10	自分がしてみたいことについて伝え合うため、1〜7まで学習したことを使い、話したり書いたりすることができる。	😊 😊 😊 😊	●		●	●	○	
11	乗り物で目的地に到着できるように、行き方をたずねたり、答えたりすることができる。	😊 😊 😊 😊	●	●	●		●	
12	相手の気持ちを考えたり、したいことを伝えたりできるように、留守番電話を聞き、必要な情報を聞き取ることができる。	😊 😊 😊 😊	●		●		○	
13	單元テストを通し、Unit5 での学習内容の定着度を確認し、理解を深めることができる。	😊 😊 😊 😊	●		●		●	

Good Script I know how to use these products. I can show you how to use these products. I am sure that these ideas help many people.

### 【館岩小（小6）】【Unit 6 Let's think about food 大内 綾子先生の実践】【CAN-DO リスト】

家庭科の時間に作成した「ふくしまっ子ごはんコンテスト」と関連させながら、自分が考えた「オリジナル朝ごはん」を ALT に紹介する活動が行われ、献立のおすすめポイントや使われている食材の栄養素等を伝えることができました。ALT に紹介するという目的が明確になっているため、児童の主体的な学びを引き出すことができました。



6th Grade Name

Unit6 Let's think about our food. ~食材を通じて世界のつながりを考え、メニューを発表しよう。~

① Unit Goal ジャスティン先生に、自分達が考えた「オリジナル朝ごはん」を紹介しよう!

② Lesson Schedule(こんなことを学ぶよ!)

時間	Today's CAN-DO (今日のめあて)	CAN-DO チェック できる 少しできる 少しできない できない	この時間でレベルアップするか ●がつかついたら					今日の振り返りと、 次回がんばりたいこと
			聞く	読む	やり取り	発表	書く	
1	食べ物の表現に慣れ親しみながら、自分の食べたものについて友達とやり取りできる。	😊 😊 😊 😊	●		○			
2	食べたものやそれらの産地についてのやり取りのおおよその内容を理解できる。	😊 😊 😊 😊	●		○			
3	食べ物とその産地についてやり取りができる。	😊 😊 😊 😊			○	●		
4	食べ物ごとの栄養素のグループに入るのかやり取りすることができる。	😊 😊 😊 😊				●	○	
5	自分達が考えた「オリジナル朝ごはん」について、友達と見せ合いながらやり取りができる。	😊 😊 😊 😊				●		
6	ジャスティン先生に、自分達が考えた「オリジナル朝ごはん」を紹介することができる。	😊 😊 😊 😊				●	○	
7	世界の食糧事情について考え、世界と日本についての理解を深めることができる。	😊 😊 😊 😊	●	○				
8	日本と世界の食べ物について考え、世界と日本についての理解を深めることができる。	😊 😊 😊 😊	●	○				

## ＜小学校外国語教育推進リーダーの先生の授業紹介＞

南会津域内では4名の小学校外国語教育推進リーダーの先生方が、外国語の指導をされています。県内の外国語教育推進リーダーと外国語指導について情報交換を行ったり、域内の先生方と互見授業を行ったりしながら、児童が楽しく外国語に親しめるよう工夫されています。今回はそのような授業の一部を紹介します。



【室井 康志先生の実践から】（担当校：田島小、田島二小、桧沢小、荒海小）



＜アルファベットの文字指導＞

ALT と単語リストを共有し、文字指導を段階的に取り入れる工夫がされています。導入では聞き取った音を書く活動が行われ、発音と綴りの関係に気付かせていました。

授業では過去形の表現を復習した後で、夏休みの出来事を書いた英文を書画カメラで紹介する活動があり、児童の学びを深めることができました。

【大内 綾子先生の実践から】（担当校：館岩小、伊南小、南郷小）

英語ルームの活用（掲示物の展示や英語の歌等）により、英語を使う雰囲気づくりが工夫されています。課題把握のための Small Talk の導入やマッピングを活用したイメージづくり、目的をもたせたペアやグループでの話し合い等により、児童が経験したことを意欲的に発表することができていました。



＜イメージマップをもとに  
伝えたいことを発表する児童＞

【室井 温子先生の実践から】（担当校：旭田小、江川小、榎原小）

同じ町内の小学生が将来の夢について話した動画を児童が各自視聴し、メッセージを書くという活動が行われていました。タブレットの活用により、自分のペースで学習を進めることができ、児童同士の交流の点からも目的意識をもって活動に取り組む姿が見られました。



＜発表動画にコメントする児童＞

【池上 禎一先生の実践から】（担当校：只見小、朝日小、明和小）



＜アルファベットフォニックスの歌を  
発表する児童＞

導入ではアルファベットフォニックスの身体表現活動を取り入れ、小文字の発音や文字の形の特徴に気付かせる工夫がされていました。また、本時で扱う言語材料に関する歌のウォームアップを通して、英語を楽しく学べる雰囲気づくりが工夫されており、一人一人の児童が道順を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しんでいました。

各校の先生方のご指導により、児童の英語に対する興味・関心が高くなり、英語を使って会話を続けようとする力や与えられたテーマに対して自分の意見を伝えようとする力が育ってきました。また、小中のつながりを意識した段階的な文字指導により、抵抗感が少なくなり文字に慣れ親しむ様子が見られました。どの先生方も効果的に ICT を活用しており、児童の学びにつながっています。

福島県教育庁南会津教育事務所 学校教育課

TEL 0241-62-5255 HP <https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/70510a/>

